

番号	学部名	氏名	団体名 ※学生団体の場合	表彰の理由	表彰式 年月日
1	教育文化学部	井上 雅俊		平成5年から子供会ジュニアリーダーとして、企画運営の補助及びレクリエーションの実技指導等で子供会活動の活性化に大きく貢献したとの高い評価を得て、善行青少年表彰(内閣府表彰)を受賞。	H16.1.15
2	農学部	榎本 麻衣子		9月6~10日までデンマークで開催された「第12回カンピロバクター、ヘリコバクター及び関連細菌に関する国際学会」で若手研究者賞を受賞。日本人受賞は初。	H15.12.1
3	医学部	白根 晃		茶道裏千家淡交会総本部主催による「平成15年度学校茶道体験論文」において、優秀賞を受賞。日本全国から700有余の応募あり、最終選考の結果10名が選出された。	H16.6.23
4	医学部	遠藤 大輔		「ラット後肢への侵害性熱刺激による足引っ込み反射に対するヘモキニン髄腔内投与の効果」の論文が専門分野で国際的に著名な雑誌 Neuroscience Letters(ニュウロサイエンスレターズ)に掲載され、日本学生支援機構の優秀学生顕彰事業の学術分野に於いて優秀賞を受賞。	H18.2.20
5	医学系研究科	志智 優樹		平成18年7月24~27日までドイツ・ハンブルグに於いて開催された国際低温生物学会の第43回研究総会で、ポスター発表の最優秀賞を受賞。哺乳動物の生殖細胞凍結保存に超高压ガラス化凍結法を応用する研究に関するポスター発表において、当学会から高い評価を受けた。日本人として2人目。	H18.10.1
6	医学部	山名 英俊		平成16年12月に発生したスマトラ島沖大地震・インド洋津波災害により大きな被害を受けたタイ国政府及び国民に対して、国際緊急援助隊医療チーム隊員として救助活動に従事して、国際協力推進に多大な貢献をし、その献身的な活動は平成17年3月1日に「独立行政法人国際協力機構」からも高い評価を受けた。平成18年1月に名誉ある「国際緊急援助隊天皇皇后両陛下拝謁」も受賞。	H18.8.1
7	工学部 教育文化学部	吉富 友香里 辻井 真名美 鈴川 麻美	ボランティアサークル「ひいだま」	平成19年10月に開催された「IAHAIO 人と動物の関係に関する国際会議(第11回東京大会)」で、長期に渡る学生の動物介在活動が高く評価されベストポスター賞を受賞。	H19.12.18
8	工学研究科	甲斐 七奈美		日刊工業新聞社が主催する「第10回理工系学生科学技術論文コンクールJ」において「つながりを科学で実感することJ」の題目で特別賞を受賞。	H21.8.5
9	教育文化学部	北川 和晃 興梠 進之介 辰田 駿介 山本 英樹		学内敷地内で発生した枯草の延焼火災を発見し、相互連携による迅速なバケツリレーで鎮火させ、近隣民家等への火災被害拡大の未然防止に貢献。	H21.8.5
10	農学部	古賀 広一	サーフィン部	日本学生サーフィン連盟主催の「第三十八回秋季全日本大学サーフィン選手権大会in宮崎」において見事なチームワークにより団体の部で優勝。	H21.12.25
11	農学部	杉田 康浩	ボランティアサークル「ひいだま」	十四年間に渡る動物を介したやさしい人間関係づくりを目標とする動物介在活動の継続が評価され、財団法人ソロプロミスト日本財団より社会ボランティア賞を受賞。	H21.12.25
12	医学部	四宮 由貴 吉岡 孝房	ビリヤード部	社団法人日本ビリヤード協会主催の第10回全日本学校対抗ナインボール選手権大会において優勝。優勝者2名を表彰。	H22.7.15
13	工学研究科	徳丸 剛久 長友 宏昌 西牟田 昌吾		工学部高電圧実験棟一階から発生した火災を発見し、直ちに消防署へ通報すると共に学生及び教職員との連携した迅速かつ的確な消火活動で延焼を防ぎ隣接する実験・実習棟への火災被害の拡大を未然に防止した。	H22.7.1
14	農学部	石川 悠未		豪州・大学対抗ミートジャッジング競技会に日本代表チームの一員として出場し「牛肉食味品質部門」で準優勝、個人では「食味品質部門」第一位となった。	H22.11.18
15	農学部農学研究科	①獣医学科190名 ②食料他3名 ③食料他44名		学内外でのボランティア活動を通じて口蹄疫発生に伴う防疫活動に貢献した。	H22.11.18
16	工学研究科 医学部	梶山 望 平山 栄歩 有馬 球子		東日本大震災において、NPOみやざき災害救援センターの呼びかけに応じて避難所に救援物資の運搬や仕分けなどのボランティア活動を行った。	H23.8.5

番号	学部名	氏名	団体名 ※学生団体の場合	表彰の理由	表彰式 年月日
17	工学研究科	梶山 望		東日本大震災の被災地において、復興のためのボランティア活動を行った。	H24.1.16
	医学部	有馬 瑛子			
		平山 純歩			
		小澤 萌			
		神尾 真以			
		正木 亮多			
		安達 めぐみ			
		松井 佑太			
	教育文化学部	竹崎 誠司			
		石本 愛			
		杉田 知穂			
18	工学研究科	梶原 武史		修士の研究を精力的に行いながら電気関係で全体の合格率が2.6%の最難関とされる国家資格「第Ⅰ種電気主任技術者」に合格した。	H24.3.22
19	工学研究科	嘉藤 貴洋			
20	医学部	澤野 直樹			
		小松 貴幸		テニスコート横の生垣付近において、雑草が燃えているのを発見。守衛室に連絡後、守衛とともに消火作業をし、無事鎮火。その消火活動に対する表彰。	H25.3.19
	農学部	喜多 桂			
		永沼 恵美			
		小島 淳平		第65回日本薬理学会西南部会優秀発表賞(ポスター部門)を受賞。	
21	農学部	湯村 昂広		東日本大震災の被災地において、桜の植樹やがれき撤去等、復興のためのボランティア活動に従事。	H25.2.22
		丸野 迪高			
		前田 将士			
		川口 千尋			
		岩本 麻里			
		今村 千夏			
		戸高 和也			
		吉川 孝幸			
		松岡 智恵子			
		藤原 恭兵			
	工学部	平川 澄美			
		大久保 謙			
	教育文化学部	板清 智也		東日本大震災の被災者支援ボランティア活動に従事。	H24.9.26
		小園 翔平			
		時枝 明日香			
		平井 真奈美			
		久保田 美紀			
22	教育文化学部	中野 聰之		東日本大震災の被災者支援ボランティア活動に従事。	H24.9.26
		柴原 亮			
		青山 奈緒美			
	農学部	神崎 桃子			
		坂井 秀平			
		中村 友行			
		大坪 早貴			
	工学部	尾上 皓			
		大須賀 愛幸			
	宇野 友樹				

番号	学部名	氏名	団体名 ※学生団体の場合	表彰の理由	表彰式 年月日
23	農学部研究科	大山 明子		東日本大震災の被災者支援ボランティア活動に従事。	H26.3.4
		松浦 祥太			
		大西 成美			
	教育文化学部	中島 薫			
		布田 早紀			
		金居 愛			
		山口 千晴			
		畠野 安耶			
		時枝 明日香			
		出水 直哉			
		田辺 雄一			
	農学部	青木 陽			
		小島 沙也			
		神谷 豪			
		田中 啓史			
		吉鶴 北斗			
		田村 紗也佳			
		中村 茜			
24	医学部	前田 雄洋		「第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会」において「スポーツ医学啓発賞」を受賞。	H25.6.27
25	医学部	野中 双葉	MUSB宮崎大学学生放送局	「第31回NHK全国大学放送コンテスト本選」に参加し、Live部門において第2位に入賞。	H27.1.29
26	工学部	木下 大輔		2014全国障がい者スポーツ大会において、青年の部(15~30歳)脳性まひ区分の100m競争で1位、200m競争で第2位の成績を収めた。この功績に対し、宮崎県より「宮崎県障がい者スポーツ賞優秀選手賞」を受賞。	H27.2.26
27	工学部	今吉 哲朗		世界フライングディスク連盟の「アルティメット世界大会」において、23歳以下の部 日本代表として出場し、3位の好成績を収めた。	H27.9.25
28	医学部	岡口 和也		「第10回NRI学生小論文コンテスト2015」において、兄と共に著の「人に寄り添う医療を目指して-2030年へ向けた医療改革の提言ー」により、大学生部門で大賞(1位)を受賞。	H28.1.29
29	工学部	木下 大輔		「第15回障がい者スポーツ大会」において、陸上競技100m第1位、1500m第1位の成績を収め、この功績に対し、宮崎県より「宮崎県障がい者スポーツ賞優秀選手賞」を受賞。	H28.6.7
30	医学部	前田 央祐	宮崎ひまわりキャンプ実行委員会	ソロプロチミスト日本財団より「平成28年度学生ボランティア賞」を受賞。	H29.1.27
31	医学部	小野村 仁美		「肺癌悪液質における摂食関連分子の発現の解析」に関する研究内容が高い評価を受け、第56回日本呼吸学会学術講演会において「研修医トラベルアワード」を受賞。	H29.1.27
32	医学部	大立目 真臣		パソコンやスマートフォンなどを通じて会話ができる入力発話フィードバック支援ソフトを開発し、「平成28年度パテントコンテスト」で優秀賞を受賞。	H29.10.3
33	教育文化学部	北原 春華		「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」留学成果報告会において、約150名の中から優良賞(6名)の一人に選出。	H29.12.1

番号	学部名	氏名	団体名 ※学生団体の場合	表彰の理由	表彰式 年月日
34	工学部	木下 大輔		'第14回キャンパスベンチャーグランプリ全国大会」において、障がい者の航空券などの予約手続きを簡略化するプランである「障がい者情報プラットフォーム（TOBE）」が文部科学大臣賞を受賞。	H30.3.23
	教育文化学部	井手 優太			
	地域資源創成学部	太田 帆南			
		外山 開成			
		福永 昌俊			
35	教育学部	谷口 夢結		'日本代表として「2018 アジアパシフィックスプリント大会」に出場。「女子カヤック200m2人乗り」と「女子カヤック200m4人乗り」と「混合カヤック」を2位、「女子カヤック500m4人乗り」を3位、「女子カヤック200m1人乗り」を5位という成績を収めた。	H30.6.22
36	教育学部	細谷 奎伍	ボランティアサークル「びいだま」	県立こども療育センターにおける障害児への学習指導をはじめ、社会福祉協議会からの様々なボランティア活動に対する依頼に応えている。こども療育センターにおける動物介在活動では活動犬を募り、トレーニングする段階から学生が中心となって20年以上継続した活動を行っている。このような社会貢献活動が認められ、H31.2に宮崎県知事より「明日のみやざきづくり表彰（社会貢献活動部門）」として表彰。	H31.3.5
37	農学部	久永 草太		'第34回歌壇賞'を受賞	R5.2.28
38	工学部	丸山 大和	ボランティアサークル「びいだま」	令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰受賞	R5.2.28
39	地域資源創成学部	手束 梨音	地域資源創成学部の学生有志で組織された選挙サークルVOICE	若者（大学生）の政治的意識の涵養、政治参加の促進等を目的に、国政又は地方選挙における宮大生の投票率の向上に係る啓発活動に積極的に取り組んできた。 活動が、報道機関（テレビ、新聞等）のニュースにおいて大きく取り上げられ、本学の学生にとどまらず、広く県内の若者全体の政治的意識の向上に貢献することにつながっている。	R5.2.28
		小野 哉華			
		高見 陽愛			
40	医学部	本田 萌佳		R5.4に開催された第63回日本呼吸器学会学術講演会において口演発表を行い、「呼吸器病学ことはじめ 優秀賞」を受賞	R6.2.8
41	農学部	板山 息己	MUSB宮崎大学学生放送局	R5.12.2に開催されたNHK全国大学放送コンテストに出場し、「映像番組部門」において全国の大学から応募された58作品のなかで優勝（日本一）	R6.2.15
42	教育学部	津田 江梨花	ボランティアサークル「びいだま」	令和5年度ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰受賞	R6.2.15
43	医学部		医学部女子軟式テニス部	令和5年度九州大会、西日本大会を勝ち抜き、全日本医科学生体育大会王座決定戦に出場し、団体戦、個人戦ともに優勝（医学部生日本一）という輝かしい成績を収めた。	R6.3.28
44	医学部	中川 もえ		UNIVAS AWARDS 2023-24「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」優秀賞を受賞	R6.3.28
45	医学部	巣山 侑聖	宮崎大学医学部 ボランティアサークル 「宮崎ひまわりキャンプ」	長期治療を要する小児がん患者さんへの学習支援等の功績が評価され、「第60回宮崎日日新聞社賞教育賞」を受賞（R6.10.18）	R7.3.17
46	工学部	近藤 麟太朗		R6.7.17に車を運転している際、用水路（深さが約2㍍）に高齢者が落下することに気づき、119番に通報。その後、自ら用水路に降りて、高齢者を救出したことにより宮崎南警察署から「感謝状」を授与（R6.9.6）	R7.3.17
		佐藤 裕斗			